

エレナシリル Elenashirin

個展 (Exhibitions):

- 2009年 International Galeria M (Wrocław、ポーランド)、「Metamorphosis」
- 2010年 International Biennial of Miniature Art (Częstochowa、ポーランド)、「Maharaja's Sigh」
- 2012年 Spazio Espositivo Numa Del Parente (メンドリシオ、スイス)、「The Fabric of Memories」
- 2012年 Art Café-Kanka 関花 (大阪市)、「Un Jardin des Signes: A Garden of Traces」
- 2012年 橋画廊 (大阪市・東京市)、「A Cicada Singing in the Night」
- 2013年 芝田町画廊企画 (大阪市)、「思い出の布」The Fabric of Memories: Under the Falling Cherry Blossoms
- 2015年 芝田町画廊企画 (大阪市)、「Rope」
- 2017年 レストラン・モンタルバノ (スタビオ、スイス)、「水の日記」Water Diaries
- 2018年 ギャラリーみやがわ (京都市)、「Another Side of the Moon・月のもう一つの顔」

社会活動・受賞歴 (Lectures, Seminars, Awards):

- 2012年4月 SHASEN (大阪市) 日本写真映像専門学校「ポートフォリオレビュー」セミナー
- 2013年4月 『大阪観光局』大阪の親善大使に任命される。受賞
- 2015年11月 SHASEN (大阪市) 日本写真映像専門学校「ポートフォリオレビュー」セミナー
- 2015年11月 (京都市) 平安女学院中学校高等学校「スイスのファインアーティストのエレナシリル」プレゼン

略歴 (Biography):

スイス南部ティチーノ州(スイスで唯一のアルプス山脈南部の州、イタリア文化)で生まれ育つ。

1976年スイス・ルガーノのCSIA(産業アートの大学)でファインアートの学位、視覚芸術教員の資格を取得。

1973~1980年アーティストとして、また教師としてスイスの中学校でファインアートを教える。

1980~現在 文化の多様性、東洋美術に関心があり、それをモチーフにした絵画と写真を組み合わせた作品が多い。また、ファッション、ストリートパフォーマンス、舞台業界等、スイスを中心にイタリア、イギリスでも活躍。国際にファインアートの活動に加わる。

2010年北インド、アメダバードで Artist in Residence プログラムに参加。細密画を修学。

2010~現在 日本で活動を始める。

私の作品では、絵画と融合させた写真を用いて物語を表現しています。それは絵画と写真の境界をぼかすことで、私は夢から現実へと切り離された境目を近づけています。私は、世界中を旅しているときに魅了されたもの、私自身に意味深い記号として残されたものが、重要で目にとまる控えめな日常の物語であると信じています。誰もが皆、自分自身に語りかけるイメージや視点をひとつの物語としてもっています。

私の作品は、哀愁を豊かな彩色や黄金色の希望に形を変えるように、現実の夢を見出だします。私の精神や、生まれ、生い立ちに在るものは、南スイスの自然とヨーロッパの伝統の古い絵画から湧き出た心のイメージから引き出され、芸術的な音色になって浮かび上がります。自然の顔料や塗料、金や銀箔、油彩や漆は、独創的な試みのひとつとして写真と組み合わせて使われています。